令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

【調査日・対象：令和５年４月 18 日（火）・６年児童　　調査項目：国語・算数・児童質問紙】

この調査は、児童の学力や学習への取り組み方の状況を把握し、今後の学校における授業改善や児童自らが自身の学習の仕方を見直すことを主な目的として行っています。学力については、国語と算数だけの調査ですので、各自の学力全体を表しているものではありませんが、本調査の結果をもとに、さらに一人一人に応じた指導の充実に努めてまいりたいと思います。

＜国語＞

全国平均をやや上回る結果となりました。特に、「話すこと・聞くこと」に関する内容については概ね定着が見られました。日常的な授業改善において、ペアやグループでの話合い活動を重視し、協働的に学ぶことを継続してきた成果が見られました。しかし、「書くこと」の観点について、記述式での解答に課題が見られました。課題が見られた主な内容は、以下の通りです。

◆複数の資料をもとに、条件に合わせて要点を押さえながら文章にまとめること。
◆資料から分かることをもとに、条件に合わせて自分の考えを文章にまとめること。
◆同音異義の漢字の書き取り　　いがいに雑草が生え、　→正答率約 46%

＜算数＞

全国平均を上回る結果となりました。いずれの観点についても、概ね定着が見られます。その学習を通して身に付けさせたい力を明らかにしながら、具体物の操作や ICT を活用した授業づくりに取り組んできた結果であると考えられます。その中でも課題が見られた内容は、以下の通りです。

◆平行の考え方を活用して、三角形の面積の大小について判断する問題。
◆与えられた条件の中から割合が 30%になるものを２つ選ぶ問題。
　ア　100 人をもとにした 0.3 人の割合　　イ　100 人をもとにした３人の割合
　ウ　100 人をもとにした 30 人の割合　　エ　10 人をもとにした３人の割合
　オ　30 人をもとにした１人の割合
◆表の中から必要な数値を見つけ出し、問題に合わせて解答する問題。

短答式の問題については、一定の強さが見られました。しかし、テストの結果だけでなく、日常の様子からも、目的に合わせて自分自身で文章にまとめたり、式や数、図を用いて論理的に説明したりする力に課題が見られます。引き続き、一問一答形式の授業展開にならないよう、自分の考えを文章にまとめたりグループで話し合ったりする時間を大切に扱い、自分の考えを持つことの大切さや友達の意見から学び合う楽しさを実感できる授業を通して、主体的に学習に取り組む姿勢をはぐくんでいきます。

【児童質問紙の結果から（一部抜粋）】・・・【　】内の数値は京都府比を表しています。100 が平均です。

自分を高める力
・自分にはよいところがある【99】
・将来の夢や目標を持っている【109】
・人の役に立つ人間になりたいと思う【105】

自分の生活や学習の仕方を見直し、必要に応じて修正したり、新たな目標を設定したりする「自己指導力」を高めていくことが大切だとされています。

やるべきことを自覚し進める力
・家で自分で計画を立てて勉強している（学校の授業の予習や復習を含む）。【93】
・授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。【89】

粘り強く取り組む力
・学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。【93】
・学級活動における学級での話合いを活かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。【83】

他者とつながる力
・人が困っている時は進んで助けている【95】
・友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている【99】

目標に向かって努力したり、学級の友達と一緒に活動したりすることの意義を感じながら、前向きに学校生活を送っていることがうかがえました。
学校では、学習の終わりや行事・活動のまとめに行う「ふりかえり」の時間を大切にしています。その学習で学んだこと、新しい発見、今後がんばりたいこと等の観点に沿って書いたり話したりする時間を設定することで、自分自身の学び方を振り返り、次の目標を設定する主体性をはぐくんでいきたいと思います。